

子ども主体の活動

子どもがつくる三大行事



いちょう兄弟体験学習

- ・見通しをもつ
- ・つながる
- ・納得するまでやりきる



いちょう音楽会

- ・思いやあこがれをもつ
- ・ひたむきに練習する
- ・仲間と心を合わせる

学級数・児童数

令和2年4月1日現在

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
学級数	1	1	1	2	1	1	9 いちょう(2)
男	16	15	18	22	24	19	114
女	12	13	13	20	17	15	90
計	28	28	31	42	41	34	204

部活動

～心を合わせて～



管弦楽部

伝統の継承

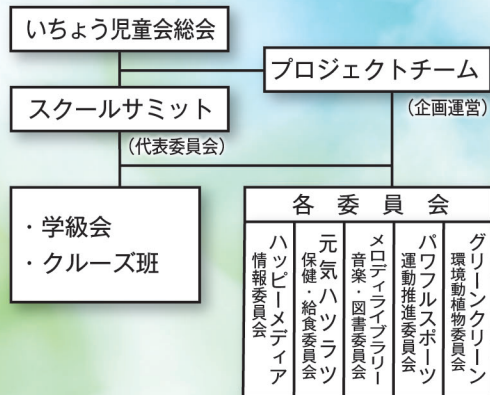
存蹟館

そんせきかん

卒業記念作品(存蹟)や賞状、いちょう文集、学校日誌、アルバムなど四小の歴史資料が保存されています。



いちょう児童会



山形市立第四小学校 学校教育目標
徳・体・知が調和し、心身ともに健康で、
よりよい社会や人生を切り拓いていく
子どもを育てる

山形市学校教育の基本理念

- ◇感動 (人や自然の営み、生きていることへの感動)
- ◇感謝 (多くの人や自然に、生かされ支えられていることへの感謝)
- ◇信頼 (子ども・家庭・地域・学校の深い信頼関係)

心の豊かな子ども【徳】	健康でたくましい子ども【体】	意欲的に考える子ども【知】
「真・善・美」を求め、仲間と協力し合い、支え合いながらのしく生活する子ども	体を鍛え、安全に気をつけ、ものごとに粘り強く立ち向かう子ども	基礎的な知識や技能を確実に身につけ、これらを活用して学び続ける子ども
○「気になる」…人が気になる 物事が気になる ○「照らす」…「当たり前」「最善」 ○「行動する」…「勇気」 ○「立ち止まる」…「広い視野」 ◇心の豊かさの連鎖…個人内、集団	○「いのちを守る」…自他のいのち「止まる」「見る」「待つ」の徹底 ○「運動する」 ○「よく働く」…「粘り強さ」 ○「生活リズムを保つ」…「厳しさ、我慢」 ◇共によりよく生きる	○「試行錯誤する」…更新、強化 ○「表現する」…表現手段を身につける ○「聞く、話す」…学び合う、言葉の力 ○「選択する」…自分らしく、よさ ○「できる、わかる」…確実な習得 ◇学ぶ喜びの連鎖…個人内、集団

教職員も児童も、個の思考が常に大切にされる

めざす学校の姿(経営方針)

- 学校づくりの中心に研究をすえた学校
 - ・子どもの学びを大切にして、確かな学力を育てる
- 伝統を大切にし、新しいことに挑戦する学校
 - ・伝統的な活動に新たな視点を加え、学校のよさを広げる
- 教職員が協働の姿勢で、組織的に指導・実践する学校
 - ①安心と安定を生む学校づくりをすすめる(心を育てる)
 - 自浄作用がある集団づくり
 - 空間的・時間的な居場所づくり
 - ②安全な環境を作り、防災教育を推進する
- 地域・保護者との連携を大切にする学校
 - ・信頼関係を築きながら、子どもの未来を共に考える

めざす教師の姿

- 子どもと共に学び、共に汗し、共に歩む教師
smile (笑顔) smart (実行力、洞察力) sunshine (包容力)
- 「教える喜び」を味わい、互いに育ち合う教師
 - ①共通理解の中で、自分らしさを発揮する(個性、得意)
 - ②授業や仕事を楽しくて見合う、し合う(同僚性)
 - 「すみません」ではなく「ありがとう」と言える
 - 「礼儀」(感謝と謙虚さ)をつくし、互いに支え合う
 - ③学校教育の不易を流行の中で生かす(挑戦・変革)
 - 「変わらぬものを変わりゆく時の流れに合わせる」(芭蕉)
- ワーク・ライフバランスを保ち、心身ともに健康な教師
限られた時間内で最大の成果を上げる(学校の体力)
- 「一期一会」の心を大切にできる教師

経営の重点

1. 学校づくりの中心に研究をすえた学校

- (1) 新たな研究主題や視点を見つけ出す一年とする。
これまで6年間、研究主題「つながりのなかでくらしをつくる子ども」とサブテーマ「子どもとくらす 教師の目と問い」で研究を進めてきた。この研究は令和元年10月2日の公開研究会で一つのまとまりをつくった。令和2年度は、これまでの研究の上に立ち、新たな研究主題・視点を探る年とする。
- (2) 学校評価アンケートの結果から、「確かな学力」の定着をめざす。
授業の充実、資質能力を明確にしたカリマネ、家庭との連携等

2. 伝統を大切にし、新しいことに挑戦する学校

- (1) 伝統的な活動を引き継ぎながら、四小らしい活動を時代に合うものに創り上げていく。
①三大行事 いちょうの時間(26時間程度)を設定し、時間内での充実した活動を展開する。
②「音楽活動」の推進 市民合同音楽祭・吹奏楽発表会・いちょう音楽会などに向け、全校(学年)音楽朝会を計画的に活用する。
- (2) 計画的に体を鍛える。健康を保つ。(遊びの推奨、環境の整備(場の工夫))

3. 教職員が協働の姿勢で、組織的に指導・実践する学校

- (1) 【安心・安定】いじめのない学校・安定した学校をめざす。
①道徳の授業を核とした心の育成…重点を明確にして特別の教科道徳を経営する。
②クルーズ班活動……自浄作用のある集団づくり、楽しみながら知り合う活動をめざす。(自ら、責任、計画、見通し、最後まで)
③学年部・学年の活動…学年部でリーダーとして育てる。(上学年の姿を見て育つ)
④スピード感のある丁寧な対応…いじめ調査アンケートを実施(6月、11月)し、問題解決、心のケアを素早く丁寧に行う。
⑤子ども支援委員会、子どもを語る会…定期的な開催で子どもの様子を全員で共有し、子ども一人一人の居場所をつくる。
- (2) 【安全】最悪を想定し、さまざまな訓練等を行う。もしもの場合には、緊急対応マニュアルに沿って適切に対応する。

4. 地域・保護者との連携を大切にする学校

- (1) 個別面談や学級懇談会、子育て講演会を教育課程に位置づけ、保護者と共通理解のもと子どもを育てていく。
4月 奨学会総会(書面開催) 7月 個別面談 11月 通知表配付(一斉)
12月、2月 学習参観・子育て講演会 3月 通知表配付(子どもに) ※家庭訪問は行わない。
- (2) 情報発信を大切にし、信頼される学校経営をめざす。(学校だより、学年学級だより、HPによるお知らせ、緊急メール)
- (3) 地域とのつながりを大切にする。
・奨学会・同窓会・研学会・交対協・青少年健全育成・体育振興会・子育て連・民生児童委員・学童クラブ等

5. ワーク・ライフバランスを保ち、心身ともに健康な教師

働き方改革を意識した組織の見直しを進める。一役一人と一役複数を組み合わせ、ゆとりを生みながらも、伝統を引き継ぐ体制をつくる。

スタッフ

校長 日高 伸哉	主査 鈴木 綾	技能補助員 武田 博
教頭 武田 重泰	少人数指導 國井 智子	図書補助員 長谷川 恵子
教務 斎藤 寿美	市特別支援指導員 野村 文代	給食補助員 家住 紀子
養護教諭 山川 時子	技能長 黒澤 和浩	(在外教育施設派遣) 醍醐 絵里奈

1学年

1組 佐藤 支保

2学年

1組 齋藤 勇一

3学年

1組 清野 真美子

4学年

1組 熊倉 絵里子

2組 岩田 英樹

5学年

1組 武田 美南子

6学年

1組 齋藤 浩二

いちょう

1組 高橋 なお

2組 金山 恵里子

板垣 ひとみ
(産休中)

学校医

内科医 松永 明	眼科医 奥山 直美	薬剤師 荒木 睦子
耳鼻科医 深瀬 滋	歯科医 高橋 一雄	精神科医 和田 正

奨学会

会長 矢野 健太郎	保健体育部長 荻野 雄太	4学年委員長 菊野 政治
副会長 向田 敏	母親委員長 伊藤 智子	5学年委員長 池田 良平
伊藤 陽介	1学年委員長 池田 優美	6学年委員長 稲村 憲治
生活文化部長 佐藤 充	2学年委員長 澤田 斉	
広報部長 木村 純一	3学年委員長 我妻 大介	

同窓会

会長 矢野 秀弥	常任幹事 長瀬 洋子	常任幹事 瀧口 宗紀
副会長 吉田 眞一郎	常任幹事 高橋 佳弘	常任幹事 山川 治雄
副会長 高橋 一夫	常任幹事 鈴木 肇子	常任幹事 松田 一訓
副会長 佐藤 幸蔵	常任幹事 安孫子 英彦	常任幹事 植田 真雄
副会長 中嶋 武司	常任幹事 松村 孝幸	監事 吉田 福平
幹事長 大沼 善広	常任幹事 市村 一敏	監事 五十嵐 慶三
副幹事長 柴田 一夫	常任幹事 長澤パティ真理	

第四小学校の一年

4月	1学期始業式 入学式 奨学会総会(書面開催)	10月	創立記念式 資源回収 いちょう大運動会 いちょう秋まつり
5月	※18日より授業再開(コロナ禍)	11月	学級懇談会・通知表配付 いちょう音楽会
6月	学校評議員会①	12月	2学期終業式
7月	児童会総会 1年 交通教室 個別面談 5年 自然体験学習	1月	3学期始業式 3～6年 スキー教室 1～2年 雪上教室
8月	1学期終業式 6年 修学旅行 2学期始業式	2月	新入児保護者説明会 学校評議員会② 自主公開研究会 授業参観・学級懇談会 6年生感謝の会
9月	いちょう兄弟体験学習 民生委員児童委員懇談会	3月	同窓会入会式 修了式・通知表配付 第110回卒業証書授与式

※令和2年6月20日現在の予定です。
今後、状況に応じて変更する場合があります。